

学習課題(中学校2年生)



【国語】

<学習内容>

○教科書「字のない葉書（P106～P109）」を読み、「私」になりきって、「父」に手紙を書くことを通して、登場人物の心情や人物像を読み取り、作品に対して感じたことや考えたことを家の人に伝えよう。

<取り組み方>

◆「字のない葉書」を音読し、今の「私」になりきって、「父」に手紙を書いてみよう。

- (1) 父親の人物像をとらえよう。
 - ① 家族の前での父は「暴君」（P107の4行目）、手紙の中での父の姿は「威厳と愛情にあふれた非の打ちどころのない父親」（P107の2行目）と表現されている。それぞれの父の様子が表れている箇所を教科書から抜き出して、比較してみよう。
 - ② なぜ、家族の前での父と、手紙の中の父の姿が異なるのか、理由を考えてみよう。
 - ③ ①、②を踏まえて、父親の人物像をまとめよう。

- (2) 疎開をしている妹に対する父親の心情を、想像してみよう。
 - ① 「父はおびたらしい葉書にきちょうめんな筆で自分宛ての宛名を書いた。」（P107の19～20行目）から、父親の妹に対する心情を考えてみよう。
 - ② 妹が疎開先から帰ってきたときの父の言動や様子を抜き出し、そのときの父親の心情を考えてみよう。また、その父の姿を見て、「私」はどのようなことを思ったり感じたりしたかを想像してみよう。

- (3) なくなった父親に対して、今の「私」がどんな思いを抱いているかを考えてみよう。

- (4) 今の「私」になりきって、「父」に手紙を書いてみよう。
 - ① (3)で考えた父親に抱いている思いを踏まえて、手紙に書く内容を考えよう。
 - ② P114～P115を読み、手紙の書き方を参考にして手紙を書いてみよう。
 - ③ P117～P119を参考にして、敬語を使ってみよう。
 - ④ P116を参考にして、推敲し、よりよい手紙にしてみよう。

※(1)～(4)に取り組む中で気付いたことや考えたことについて、取組シートに記録しておこう。